

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年11月9日(2006.11.9)

【公表番号】特表2002-524647(P2002-524647A)

【公表日】平成14年8月6日(2002.8.6)

【出願番号】特願2000-570251(P2000-570251)

【国際特許分類】

C 0 9 C	1/28	(2006.01)
A 6 1 K	8/19	(2006.01)
A 6 1 K	8/18	(2006.01)
A 6 1 Q	1/02	(2006.01)
C 0 9 C	3/06	(2006.01)
C 0 9 D	7/12	(2006.01)
C 0 9 D	11/02	(2006.01)
C 0 9 D	201/00	(2006.01)

【F I】

C 0 9 C	1/28	
A 6 1 K	7/00	B
A 6 1 K	7/02	P
C 0 9 C	3/06	
C 0 9 D	7/12	
C 0 9 D	11/02	
C 0 9 D	201/00	

【手続補正書】

【提出日】平成18年9月12日(2006.9.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項3】

請求項1または2に記載の顔料混合物を調製する方法であって、

方法の第1段階において、直径50μm未満の球状二酸化ケイ素を二酸化チタンで被覆し、

方法の第2の段階において、成分Aの得られる懸濁液を、直径50μm未満の球状二酸化ケイ素を第1の層としての二酸化チタンおよび第2の外側層としての酸化鉄(I II)で65~80°の色相角度が達成されるまで被覆することによりあらかじめ調製された成分Bの未焼成粉末状のものと、4~9のpHで攪拌下に混合し、

混合物をさらに10~30分間攪拌し、

得られる顔料を反応媒体から分離し、洗い、乾燥し、

500~900で焼成することからなる、顔料混合物を調製する方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項5】

塗料、ワニス、粉末被覆剤、印刷インク、ポリマー、農業用フィルムにおける、レーザ

ーマーキングのための、種子粉衣としての、および化粧製剤における、請求項 1 に記載の
顔料混合物の使用方法。